

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		学校給食運営管理事業						予算事業名		学校給食センター運営管理経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	学校給食法					
				10	06	03	0501	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業				
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)												
		②安心して学べる学校づくりの推進						担当課係等		給食センター				
5安全で安心な給食の安定的な供給						庶務								
事業期間		継続 (昭和48年度～ 年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
学校における教育の一環として、安全安心な給食を安定的に供給することにより、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与する。														
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
・安全安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を提供するため、安全で新鮮な食材の確保、衛生管理の徹底を図る。 ・安定した給食提供のために、諸設備の保守点検と計画的な修繕、効率的な運用を図る。							市内小中学校、児童・生徒・教職員							
							【事業をとりまく環境の変化】 安全な食に対する意識は非常に高まっており、児童生徒の食する給食に関する信頼を維持することは最重要課題であるため、諸設備の管理更新、衛生管理の更なる充実を図っていく必要がある。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
給食実施日数 199日 既設蒸気発生器更新 (1台) 軟水装置・純水装置の交換 学校給食費徴収システムの導入準備 調理室・冷菜室に空調機器増設 第3子給食費無償化事業開始				給食実施日数 199日 既設蒸気発生器更新 (1台) 学校給食費徴収システム運用開始 第3子無償化事業				給食実施日数 199日 既設蒸気発生器更新 (1台) 学校給食費徴収システム運用 第3子無償化事業						
■事業費														
				R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	179	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	192,486	213,549							
	一		般	財	源	162,416	153,417							
歳 入 計 (千 円)				355,081		366,966								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)								
	01	報酬		72		72								
	08	旅費		8		16								
	10	需用費		254,912		268,744								
	11	役務費		638		735								
	12	委託料		93,201		96,119								
	13	使用料及び賃借料		88		89								
	14	工事請負費		4,950		0								
	17	備品購入費		1,053		1,038								
	18	負担金補助及び交付金		49		49								
	26	公課費		110		104								
歳 出 計 (千 円) (A)				355,081		366,966								
伸 び 率 (%)						3.34								
備 考	総合計画 114 ページ 予算書 192 ページ													

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	給食実施日数（中学校）	日	目標	191.00	197.00	199.00
			実績	179.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	義務的な事業である
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が実施すべき事業である
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の方法が一般的である
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	維持していく上で修繕によるコスト増がみられる
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広く便益を提供している
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	水準に達している
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画どおり学校給食は提供されているが、3月は臨時休業の影響により提供を中止した
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
安全で安心な学校給食の安定した提供を図るため、調理委託、運搬委託、施設設備の定期点検、衛生管理等の必要な措置を講じていく			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
経年劣化により、機械、設備、器具の修繕、食器、食缶などの更新を計画的に実施していく			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 児童生徒の健全な育成に欠かせない事業であり、安心して安全な学校給食の提供を図るため、施設設備の修繕及び更新計画を策定し、衛生管理に努めていく。また、「給食費徴収システム」を令和4年度から運用するために導入準備を進めていく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	